

都議会

暮らし破壊の12年

かち氏、石原都政を批判

日本共産党のかち佳代子東京都議は、11日の都議会定例会本会議で、2011年度一般会計予算などの反対討論を行い、国の悪政を先取りしてきた12年間



討論する、かち佳代子都議。11日、都議会本会議

の石原慎太郎知事の責任を追及し、石原都政の転換で都民が主人公の新しい都政実現のため全力を尽くすと述べました。

かち氏は、石原都政が高齢者福祉を狙いうちして老人福祉手当、老人医療費助成の廃止、シルバーパスを全面有料化。特別養護老人ホームへの用地費助成も廃止した結果、特別養護老人ホームの入所待機者は4万3000人に激増、整備率の順位は全国27位から43位に後退。認知症高齢

者グループホームなど介護施設の整備率は軒並み全国最下位であると指摘しました。

保育園の整備も大きく遅れ、12年間に整備した認可保育園は157カ所、2万8000人程度で、入所待機児が1万1908人に増加したことを批判。中小企業対策や教育費も削減したと指摘しました。

かち氏は、築地市場を土壌汚染された東京ガス工場跡地に移転する計画では、「何よりも食の安全、安心を確

保しなければならぬ。都民、市場関係者と力を合わせ豊洲移転にきっぱりと終止符を打ち、現在地再整備を実現するために全力を尽くす」と述べました。